

A 原著論文

- 1) 保坂侑里, 山田千亜希, 藤原晴美, 古牧宏啓, 芝田大樹, 榛葉隆人, 都築茉里子, 石塚恵子, 渡邊弘子, 梶原道子, 浅井隆善, 室井一男, 竹下明裕: 高校生献血の契機に関する意識調査(第2報) 高校生にとって効果的な献血推進方法とは. 日本輸血細胞治療学会誌 64 (4) : 608-613, 2018.
- 2) 菅野 仁, 岡本好雄, 北澤淳一, 田中朝志, 高橋孝喜, 半田 誠, 室井一男, 牧野茂義: 2017年日本における血液製剤使用実態と輸血管理体制の調査報告. 日本輸血細胞治療学会誌 64 (6) : 752-760, 2018.
- 3) 小林美佳, 岸野光司, 菅野直子, 秋山友子, 進藤聖子, 大槻郁子, 尾島佐恵子, 小幡 隆, 八木澤隆, 水田耕一, 室井一男: ABO主不適合肝・腎移植における抗A抗B抗体価の推移. 自治医科大学臨床検査技師年報41号: 30-33, 2018.
- 4) 松本真弓, 西岡純子, 奥山美樹, 中川美子, 河野武弘, 藤原慎一郎, 池田和彦, 横濱章彦, 田中朝志, 長谷川雄一, 藤野恵三, 牧野茂義, 紀野修一, 竹下明裕, 池田和眞, 室井一男: 末梢血幹細胞採取に携わる学会認定・アフエレーシスナーズの活動に関する調査. 日本輸血細胞治療学会誌 64 (4) : 614- 618, 2018.
- 5) 進藤聖子, 秋山友子, 大槻郁子, 尾島佐恵子, 小林美佳, 小幡 隆, 小野崎文子, 中木陽子, 菅野直子, 岸野光司, 岡塚貴世志, 室井一男: 低頻度抗原に対する不規則抗体が検出された妊婦の2例. 自治医科大学臨床検査技師年報40号: 42-45, 2018.
- 6) 菅野直子, 岸野光司, 大槻郁子, 武井生成, 秋山友子, 進藤聖子, 尾島佐恵子, 小林美佳, 小幡 隆, 中木陽子, 室井一男: 当部におけるアルブミン製剤運用の開始. 自治医科大学臨床検査技師年報 40 : 38-41, 2018.
- 7) Fujiwara, SI., Fujishima, N., Kanamori, H., Ito, M., Sugimoto, T., Saito, S., Sakaguchi, T., Nagai, K., Masuoka, H., Nagai, K., Morita, A., Kino, S., Tanaka, A., Hasegawa, Y., Yokohama, A., Fujino, K., Makino, S., Matsumoto, M., Takeshita, A., Muroi, K. : Released washed platelet concentrates are effective and safe in patients with a history of transfusion reactions. *Transfus Apher Sci.* 57 : 746-751, 2018.
- 8) Fujiwara, SI., Shirato, Y., Ikeda, T., Kawaguchi, SI., Toda, Y., Ito, S., Ochi, SI., Nagayama, T., Mashima, K., Umino, K., Minakata, D., Nakano, H., Morita, K., Yamasaki R, Kawasaki Y, Sugimoto M, Ashizawa M, Yamamoto C, Hatano K, Sato K, Oh I, Ohmine K, Muroi K, Kanda Y. : Successful treatment of follicular lymphoma with second-generation tyrosine kinase inhibitors administered for coexisting chronic myeloid leukemia. *Int J Hematol.* 107 : 712- 715, 2018.
- 9) Ikeda, K., Ohto, H., Okuyama, Y., Yamada- Fujiwara, M., Kanamori, H., Fujiwara, SI., Muroi, K., Mori, T., Kasama, K., Iseki, T., Nagamura-Inoue, T., Fujii, N., Ashida, T., Kameda, K., Kanda, J., Hirose, A., Takahashi, T., Nagai, K., Minakawa, K., Tanosaki, R. : Adverse Events Associated With Infusion of Hematopoietic Stem Cell Products : A Prospective and Multicenter Surveillance Study. *Transfus Med Rev.* 32 : 186-194, 2018.
- 10) Kawasaki, Y., Sato, K., Hayakawa, H., Takayama, N., Nakano, H., Ito, R., Mashima, K., Oh, I., Minakata, D., Yamasaki, R., Morita, K., Ashizawa, M., Yamamoto, C., Hatano, K., Fujiwara, SI., Ohmine, K., Muroi, K., Kanda, Y. : Comprehensive Analysis of the Activation and Proliferation Kinetics and Effector Functions of Human Lymphocytes, and Antigen Presentation Capacity of Antigen-Presenting Cells

in Xenogeneic Graft-Versus-Host Disease. *Biol Blood Marrow Transplant.* 24 : 1563-1574, 2018.

11) Mashima, K., Oh, I., Ikeda, T., Toda, Y., Ito, S., Umino, K., Minakata, D., Nakano, H., Morita, K., Yamasaki, R., Kawasaki, Y., Sugimoto, M., Yamamoto, C., Ashizawa, M., Fujiwara, SI., Hatano, K., Sato, K., Omine, K., Muroi, K., Kanda, Y. : Role of Sequential Monitoring of WT1 Gene Expression in Patients With Acute Myeloid Leukemia for the Early Detection of Leukemia Relapse. *Clin Lymphoma Myeloma Leuk.* (12) : e521-e527, 2018.

12) Minakata, D., Sato, K., Ikeda, T., Toda, Y., Ito, S., Mashima, K., Umino, K., Nakano, H., Yamasaki, R., Morita, K., Kawasaki, Y., Sugimoto, M., Yamamoto, C., Ashizawa, M., Hatano, K., Oh, I., Fujiwara, SI., Ohmine, K., Kawata, H., Muroi, K., Miura, I., Kanda, Y. : A leukemic double-hit follicular lymphoma associated with a complex variant translocation, t (8;14;18) (q24;q32;q21), involving BCL2, MYC, and IGH. *Cancer Genet.* 220 : 44-4820, 2018.

13) Muroi, K. : Recent advances in clinical use of mesenchymal stem cells in Japan. *Transfus Apher Sci.* 57 : 669, 2018.

14) Muroi, K. : Trends in peripheral stem/progenitor cell manipulation and clinical application. *Transfus Apher Sci.* 57 : 600-605, 2018.

15) Umino K, Fujiwara SI, Ikeda T, Toda Y, Ito S, Mashima K, Minakata D, Nakano H, Yamasaki R, Kawasaki Y, Sugimoto M, Yamamoto C, Ashizawa M, Hatano K, Sato K, Oh I, Ohmine K, Muroi K, Kanda Y. : Clinical outcomes of myeloid/lymphoid neoplasms with fibroblast growth factor receptor-1 (FGFR1) rearrangement. *Hematology.* 23 : 470-477, 2018.

B 学会発表

1) 元田晴伸, 海野健斗, 畑野かおる, 越智真一, 佐藤一也, 翁 家国, 藤原慎一郎, 大嶺 謙, 室井 一男, 神田善伸 : 悪性リンパ腫に対するDHAP療法における腎障害の検討. 第643回日本内科学会関東地方会, 東京, 2018年7月15日. (日本内科学会関東地方会643回抄録集 : 47, 2018) .

2) 畑野かおる, 藤原慎一郎, 中野裕史, 真島清実, 川崎泰史, 川口慎一郎, 越智真一, 永山隆史, 戸田由美子, 伊藤祥子, 海野健斗, 皆方大佑, 山崎諒子, 森田 薫, 山本千裕, 蘆澤正弘, 佐藤一也, 翁 家国, 上田真寿, 大嶺 謙, 室井一男, 神田善伸 : リンパ腫に対する化学療法におけるアプレピタントのデキサメサゾンの作用への影響. 第80回日本血液学会学術総会, 大阪市, 2018年10月12日~14日. (臨床血液59 : 166420, 2018) .

3) 池田和彦, 奥山美樹, 藤原実名美, 金森平和, 藤原慎一郎, 室井一男, 森 毅彦, 笠間絹代, 井関 徹, 長村登紀子[井上], 藤井伸治, 芦田隆司, 亀田和明, 廣瀬朝生, 高橋 勉, 長井一浩, 皆川敬治, 田野崎隆二, 大戸 斉, 日本輸血・細胞治療学会細胞治療委員会幹細胞輸注の有害事象研究グループ : 造血幹細胞輸注関連有害事象の発生頻度とリスク因子 前方視的多施設共同研究. 第66回日本輸血・細胞治療学会総会, 宇都宮市, 2018年5月24日~26日. (日本輸血・細胞治療学会誌 64 : 313, 2018) .

4) 川口慎一郎, 藤原慎一郎, 白土裕也, 池田喬司, 戸田由美子, 伊藤祥子, 越智真一, 永山隆史, 真島清実, 海野健斗, 皆方大佑, 中野裕史, 森田 薫, 山崎諒子, 川崎泰史, 杉本美幸, 蘆澤正弘, 山本千裕, 畑野かおる, 佐藤一也, 翁 家国, 大嶺 謙, 室井一男, 神田善伸 : DLBCLにおけるCD25の発現と中枢神経再発の関連. 第80回日本血液学会学術総会, 大阪市, 2018年10月12日~14日. (臨床血液59 : 1493, 2018) .

- 5) 川口慎一郎, 山本千裕, 永山隆史, 戸田由美子, 越智真一, 皆方大佑, 森田 薫, 山崎諒子, 蘆澤正弘, 藤原慎一郎, 畑野かおる, 佐藤一也, 翁 家国, 大嶺 謙, 室井一男, 神田善伸, 鈴木 潤, 榎澤壯樹, 相澤 啓, 鈴木悠介, 亀井 克: 開心疣贅切除術がソースコントロールとして奏効したAspergillus性心内膜炎および多発脳膿瘍. 第9回日本血液学会関東甲信越地方会, 埼玉, 2018年7月14日. (臨床血液 59: 2504, 2018).
- 6) 川崎泰史, 佐藤一也, 伊澤淳子, 早川裕子, 高山倫一, 中野裕史, 真島清実, 白土裕也, 川口慎一郎, 戸田由美子, 越智真一, 永山隆史, 皆方大佑, 山崎諒子, 森田 薫, 杉本美幸, 蘆澤正弘, 山本千裕, 畑野かおる, 翁 家国, 藤原慎一郎, 大嶺 謙, 室井一男, 神田善伸: 異種移植片対宿主病モデルマウスにおけるケモカインリガンドおよびケモカインレセプターの解析. 第80回日本血液学会学術総会, 大阪市, 2018年10月12日~14日. (臨床血液59: 1546: 2018).
- 7) 岸野光司, 高橋敦子, 尾上和夫, 長村登紀子[井上], 室井一男: 造血幹細胞採取の受託業務と造血幹細胞採取施設の相互監査 相互監査について (自治医大-東大医科研 相互監査の実施の試み). 第66回日本輸血・細胞治療学会総会, 宇都宮市, 2018年5月24日~26日. (日本輸血・細胞治療学会誌 64: 258, 2018).
- 8) 小林美佳, 岸野光司, 室井一男: 新生児と乳児における輸血前検査の現状と課題 新生児, 乳幼児におけるABO血液型ウラ検査の解析. 第66回日本輸血・細胞治療学会総会, 宇都宮市, 2018年5月24日~26日. (日本輸血・細胞治療学会誌 64: 243, 2018).
- 9) 真島 清, 池田喬司, 川口慎一郎, 戸田由美子, 伊藤祥子, 越智真一, 永山隆史, 海野健斗, 皆方大佑, 中野裕史, 山崎諒子, 森田 薫, 川崎泰史, 杉本美幸, 山本千裕, 蘆澤正弘, 藤原慎一郎, 畑野かおる, 佐藤一也, 翁 家国, 大嶺 謙, 室井一男, 神田善伸: 骨髓異形成症候群における非赤芽球系細胞と全有核細胞に基づいた骨髓芽球の計算方法の予後予測の比較. 第80回日本血液学会学術総会, 大阪市, 2018年10月12日~14日. (臨床血液 59: 1590, 2018).
- 10) 皆方大佑, 藤原慎一郎, 早川 仁, 仲宗根秀樹, 白土裕也, 池田喬司, 川口慎一郎, 戸田由美子, 伊藤祥子, 越智真一, 永山隆史, 真島清実, 海野健斗, 中野裕史, 山崎諒子, 森田 薫, 川崎泰史, 杉本美幸, 山本千裕, 蘆澤正弘, 畑野かおる, 佐藤一也, 翁 家国, 大嶺 謙, 室井一男, 大森 司, 神田善伸: 造血器悪性腫瘍合併DICに対するダナパロイドおよび合成プロテアーゼインヒビターの比較検討. 第80回日本血液学会学術総会, 大阪市, 2018年10月12日~14日. (臨床血液59: 1582, 2018).
- 11) 室井一男: 輸血療法の指針のありかた 院内で輸血用血液を採取する場合 (アフェレーシスを含む) の実施指針の改訂. 第66回日本輸血・細胞治療学会総会, 宇都宮市, 2018年5月24日~26日. (日本輸血・細胞治療学会誌 64: 261, 2018).
- 12) 永山隆史, 蘆澤正弘, 白土裕也, 池田喬司, 川口慎一郎, 戸田由美子, 伊藤祥子, 越智真一, 真島清実, 海野健斗, 皆方大佑, 中野裕史, 山崎諒子, 森田 薫, 川崎泰史, 杉本美幸, 山本千裕, 藤原慎一郎, 畑野かおる, 佐藤一也, 翁 家国, 大嶺 謙, 室井一男, 神田善伸: 自家移植後の血小板回復遅延に影響する因子の検討. 第80回日本血液学会学術総会, 大阪市, 2018年10月12日~14日. (臨床血液 59: 1524, 2018).
- 13) 中野裕史, 佐藤一也, 早川裕子, 高山倫一, 伊澤淳子, 川崎泰史, 真島清実, 翁 家国, 蘆澤正弘, 山本千裕, 畑野かおる, 藤原慎一郎, 大嶺 謙, 室井一男, 神田善伸: アロ反応性T細胞は, GVHD発症時にグルコース及び遊離脂肪酸の取り込みを増加させる. 第80回日本血液学会学術総会, 大阪市, 2018年10月12日~14日. (臨床血液 59: 1546, 2018).

- 14) 尾島佐恵子, 岸野光司, 菅野直子, 武井生成, 小幡 隆, 進藤聖子, 秋山友子, 今野雄斗, 長尾里桃, 大槻郁子, 小林美佳, 室井一男: 末梢血幹細胞解凍時における移植バッグとサンプルチューブのCD34陽性細胞数の比較検討. 第66回日本輸血・細胞治療学会総会, 宇都宮市, 2018年5月24日～26日. (日本輸血・細胞治療学会誌 64 : 353, 2018) .
- 15) 大槻郁子, 岸野光司, 菅野直子, 室井一男: 交差適合試験の省略と簡略化を考える 迅速で安全な交差適合試験の簡略化. 第66回日本輸血・細胞治療学会総会, 宇都宮市, 2018年5月24日～26日. (日本輸血・細胞治療学会誌 64 : 279, 2018) .
- 16) 菅野直子, 岸野光司, 長尾里桃, 今野雄斗, 武井生成, 秋山友子, 大槻郁子, 進藤聖子, 尾島佐恵子, 小林美佳, 小幡 隆, 室井一男: ABO血液型ウラ検査におけるカラム凝集法と試験管法の反応強度の比較検討. 第66回日本輸血・細胞治療学会総会, 宇都宮市, 2018年5月24日～26日. (日本輸血・細胞治療学会誌 64 : 398, 2018) .
- 17) 高瀬明美, 関口美奈子, 境野博子, 高岡俊子, 山口純子, 室井一男: 自己血採血後遅発性血管迷走神経反射が疑われた1例. 第66回日本輸血・細胞治療学会総会, 宇都宮市, 2018年5月24日～26日. (日本輸血・細胞治療学会誌 64 : 444, 2018) .
- 18) 戸田由美子, 山本千裕, 池田喬司, 白土裕也, 伊藤祥子, 川口慎一郎, 海野健斗, 越智真一, 永山隆史, 皆方大佑, 中野裕史, 山崎涼子, 森田 薫, 蘆澤正弘, 畑野かおる, 佐藤一也, 藤原慎一郎, 室井一男, 神田善伸: 回腸人工肛門造設後, 大量methotrexate療法時に急性腎障害を来した腸疾患関連T細胞リンパ腫. 第8回日本血液学会関東甲信越地方会, 東京, 2018年3月3日. (臨床血液 59 : 618, 2018) .
- 19) 戸田由美, 蘆澤正弘, 池田喬司, 川口慎一郎, 伊藤祥子, 越智真一, 永山隆史, 真島清実, 海野健斗, 皆方大佑, 中野裕史, 山崎涼子, 山本千裕, 畑野かおる, 佐藤一也, 藤原慎一郎, 翁 家国, 大嶺 謙, 室井一男, 神田善伸: ラスブリカーゼ使用以前の急性骨髄性白血病初回化学療法における腫瘍崩壊症候群に関する後方視的検討. 第80回日本血液学会学術総会, 大阪市, 2018年10月12日～14日. (臨床血液 59 : 1770, 2018) .
- 20) 海野健斗, 藤原慎一郎, 皆方大佑, 山本千裕, 目黒明子, 松山智洋, 佐藤一也, 大嶺 謙, 和泉 透, 室井一男, 神田善伸: 高齢DLBCL患者における予後因子としての可溶性インターロイキン2受容体値の重要性. 第80回日本血液学会学術総会, 大阪市, 2018年10月12日～14日. (臨床血液 59 : 1591, 2018) .

C 著書・総説

- 1) 室井一男: 造血細胞移植 (骨髄移植・末梢血幹細胞移植・臍帯血移植) . 前田平生, 大戸 斉, 岡崎 仁 (編), 輸血学 改訂第4版, 中外医学社, 2018, 1001-1039.
- 2) 室井一男: 輸血, 医療情報科学研究所 (編), 看護がみえるvol.2 臨床看護技術, メディックメディア, 2018, 138-153.

E その他

- 1) 室井一男: ABO式血液型抗体獲得ほどの段階か? 生後8ヵ月以内に, 自然抗体として産生していると考えられる (Q&A) , 日本医事新報 4927 : 62- 63, 2018.
- 2) 室井一男, 菊池 悟: 私のこの一枚 clonal CD20陽性Tリンパ球を伴ったリンパ形質細胞性リンパ腫/原発性マクログロブリン血症. 血液フロンティア 28 : 1001-1004, 2018.
- 3) 室井一男: 【輸血 2018—限りある資源を安全に, 有効に活用するために】しっかりと準備すれば輸血は怖くない 輸血に関連するガイドラインの紹介. 内科 122 : 707-710, 2018.